

## 石橋湛山賞授賞式のご案内

石橋湛山記念財団では第35回「石橋湛山賞」（後援：東洋経済新報社、経済倶楽部）の選考作業を進めて参りました結果、下記の通り決定致しました。

全国の有識者から推薦いただいた60篇を超える著作・論文の中から最終選考委員会での選考に残った両氏の著作は大変水準が高く、異例ですが、今回は2氏への同時授賞となりました。

松元雅和氏の『平和主義とは何か—政治哲学で考える戦争と平和』は、「平和」という重要ではあるが、抽象的概念を、政治哲学の観点から、客観的で的確な定義づけを行い、古代・中世以来の歴史的時間軸の中で、「絶対平和主義」と「平和優先主義」を対比しながら考察した、これまでにない書であることが高く評価されました。また、ベンサム、マンチェスター学派、ノーマンエンジェルなどの「平和優先主義」を軸に考察していますが、これらは石橋湛山の「小日本主義」の思想的系譜につながり、湛山の受けた思想的影響の解明にもつながることでもあり、その意味でも「湛山賞」にふさわしいものと評価されました。

一方、大胆な主張で新たな切り口を提起し、日本の思想界に大きな知的刺激を与えたのが、白井聡氏の『永続敗戦論—戦後日本の核心』です。「敗戦」を「終戦」とおきかえることによって、「第二次世界大戦に敗北した」という事実をあいまいにしてきた支配層や知識人の「無責任さ」を厳しく問い、国民への「立ち上がり」を切望する若き論客の心情が、石橋湛山の精神を引き継ぐものとして評価されました。

### 松元 雅和氏著 『平和主義とは何か』 (中央公論新社 平成25年3月刊)

松元 雅和 (まつもと・まさかず) 氏 略歴

1978年生まれ。慶應義塾大学法学部卒業。英国ヨーク大学大学院政治学研究科政治哲学専攻修士課程修了。慶應義塾大学大学院法学研究科政治学専攻博士課程修了。博士(法学)。2011年、日本倫理学会和辻賞(論文部門)受賞、2012年、政治思想学会研究奨励賞、社会思想史学会研究奨励賞受賞。島根大学教育学部准教授を経て、現在、関西大学政策創造学部准教授。

### 白井 聡氏著 『永続敗戦論』 (太田出版 平成25年3月刊)

白井 聡 (しらい・さとし) 氏 略歴

1977年生まれ。早稲田大学政治経済学部卒業。一橋大学大学院社会学研究科博士後期課程修了。博士(社会学)。日本学術振興会特別研究員等を経て、現在、文化学園大学助教。専攻は、社会思想・政治学。

2014/10/1

つきましては、下記により贈呈式を執り行いますのでご案内申し上げます。写真撮影および授賞者等へのインタビューは、他のご出席者の迷惑にならない範囲でお願い致します。

日 時 2014年10月3日（金曜日） 午前11時～  
会 場 東京都中央区日本橋本石町1-2-1  
東洋経済ビル9階 経済倶楽部ホール

（午後1時より、経済倶楽部ホールにて、松元雅和氏の受賞記念講演が行われます。なお、白井聡氏の受賞記念講演は10月17日に行われます。）

石橋湛山賞について：

石橋湛山賞は、石橋湛山記念財団により、東洋経済新報社と経済倶楽部の後援の下に、1980年に創設されました。政治経済・国際関係・社会・文化などの領域で、その年度に発表された論文・著書の中から、石橋湛山の自由主義・民主主義・国際平和主義の思想の継承・発展に、最も貢献したと考えられる著作に贈られています。政界・経済界・学界・マスコミ関係者から寄せられた推薦論文・著書をもとに、財団理事・評議員による選考委員会が授賞候補を十数点に絞ります。この中から選考委員の叶芳和（日本経済大学大学院教授、経済評論家）、増田弘（東洋英和女学院大学教授）、宮崎勇（元経済企画庁長官、舞台芸術振興会理事長）各氏の合議を経て、最終選考委員会の場で決定します。

取材等に関するお問い合わせ先：

一般財団法人 石橋湛山記念財団

事務局：山田

TEL・FAX：03-3270-8070

Mail：[zai.tanzanzaidan@juno.ocn.ne.jp](mailto:zai.tanzanzaidan@juno.ocn.ne.jp)